



**TOYOTA BOSHOKU**

東証プライム 証券コード 3116

**2022年度（2023年3月期）**

# **第2四半期 決算説明会**

---

**開催日：2022年10月28日**

# 目次

1. 2022年度第2四半期 決算状況
2. 2022年度 通期業績予想
3. 参考情報

# 目次

## 1. 2022年度第2四半期 決算状況

## 2. 2022年度 通期業績予想

## 3. 参考情報

- ◆本日は、お忙しい中、  
当社の2022年度 第2四半期 決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆はじめに、2022年度 第2四半期の決算状況、  
続いて、通期の業績予想をご説明いたします。
- ◆それでは、2022年度 第2四半期の決算状況について  
ご説明いたします。

# 1-1) 2022年度第2四半期 決算状況 連結決算概要

(億円)

	21年度 第2四半期実績		22年度 第2四半期実績		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	6,520	100.0%	7,618	100.0%	1,097	16.8%
営業利益	242	3.7%	128	1.7%	△113	△47.0%
税引前利益	257	4.0%	197	2.6%	△60	△23.5%
当期利益*	141	2.2%	20	0.3%	△121	△85.8%

\*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり四半期利益		75円75銭	10円79銭	
為替レート	USドル	110円	134円	+24円
	1-円	131円	139円	+8円

売上収益

日本での部品供給問題などに起因する減産影響はあるものの、海外での増産や為替影響などにより増収

営業利益

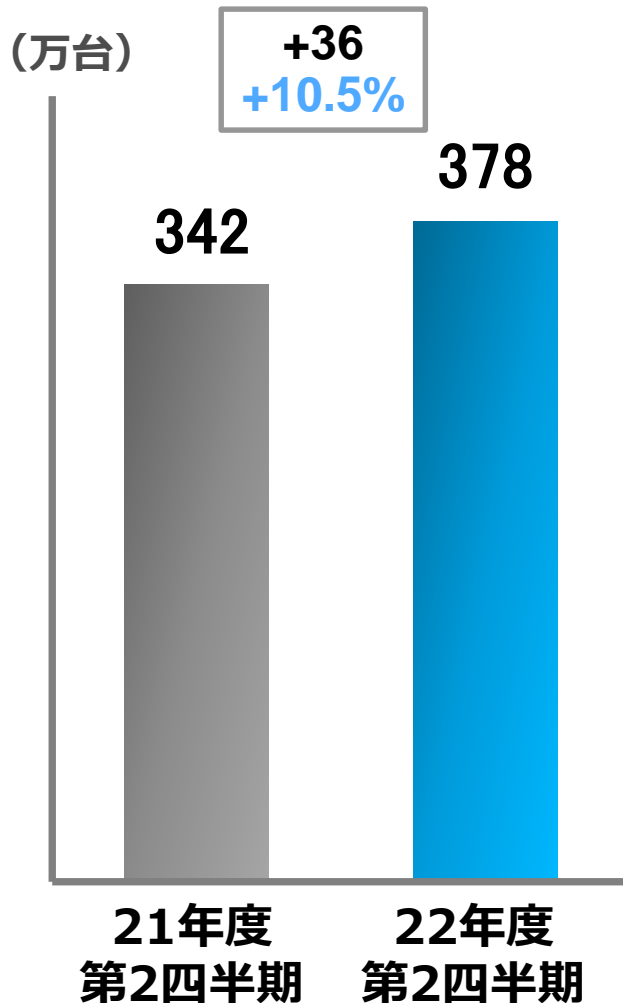
増産効果はあるものの、車種構成悪化や諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益

# スクリプト

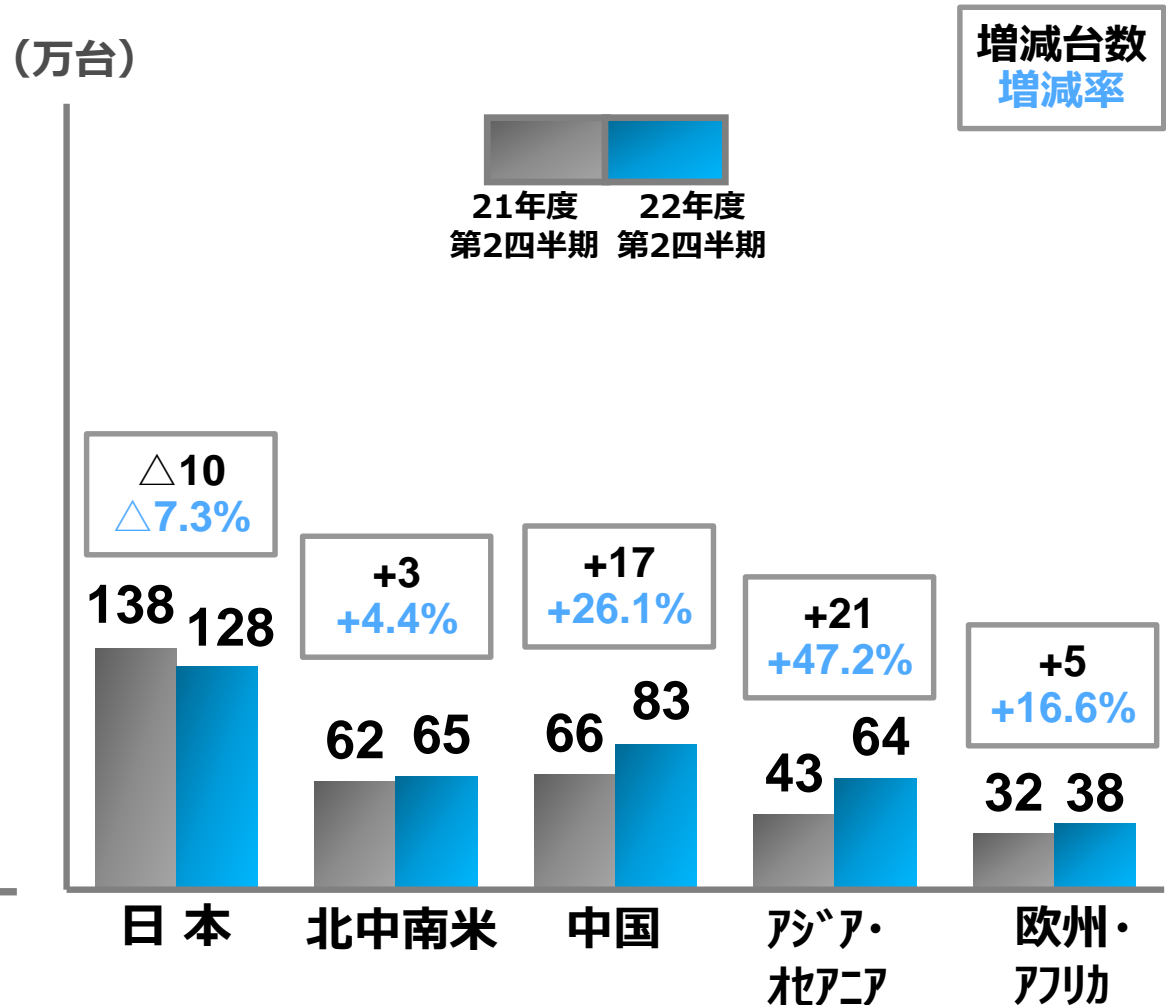
- ◆ 売上収益は、前期比1,097億円増加の7,618億円。
- ◆ 営業利益は、前期比113億円減益の128億円となりました。
- ◆ 税引前利益は、前期比60億円減益の197億円。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比121億円減益の20億円となりました。
- ◆ 為替レートは、1ドル134円、1ユーロ139円でございます。  
なお、前年同期からの為替影響につきましては、売上収益でプラス665億円、営業利益でプラス34億円増加する方向に効いております。

# 1-2) 2022年度第2四半期 決算状況 地域別シート生産台数

## 連結全体



## セグメント別



# スクリプト

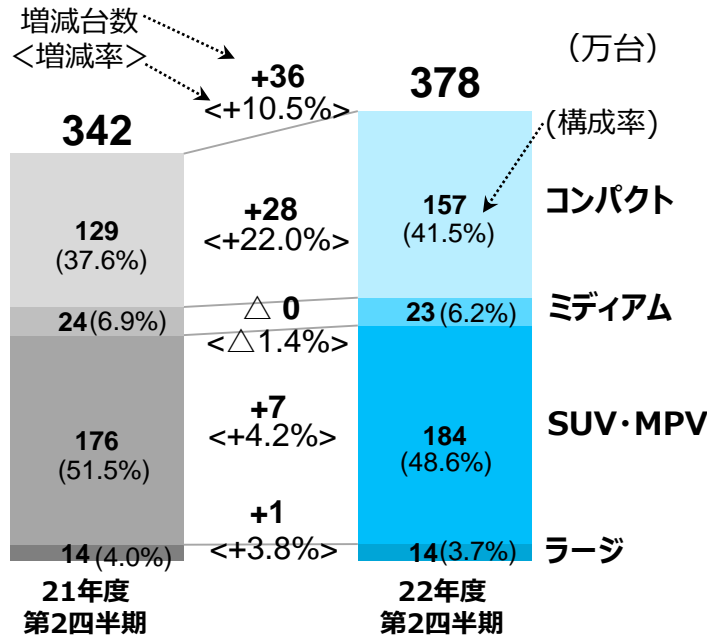
- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシートの生産台数ですが、連結全体では、前期比プラス36万台の378万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。



# 1-3) 2022年度第2四半期 決算状況 連結 売上収益・営業利益

増産効果はあるものの、車種構成悪化や諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益

## 台数・車種構成の変化



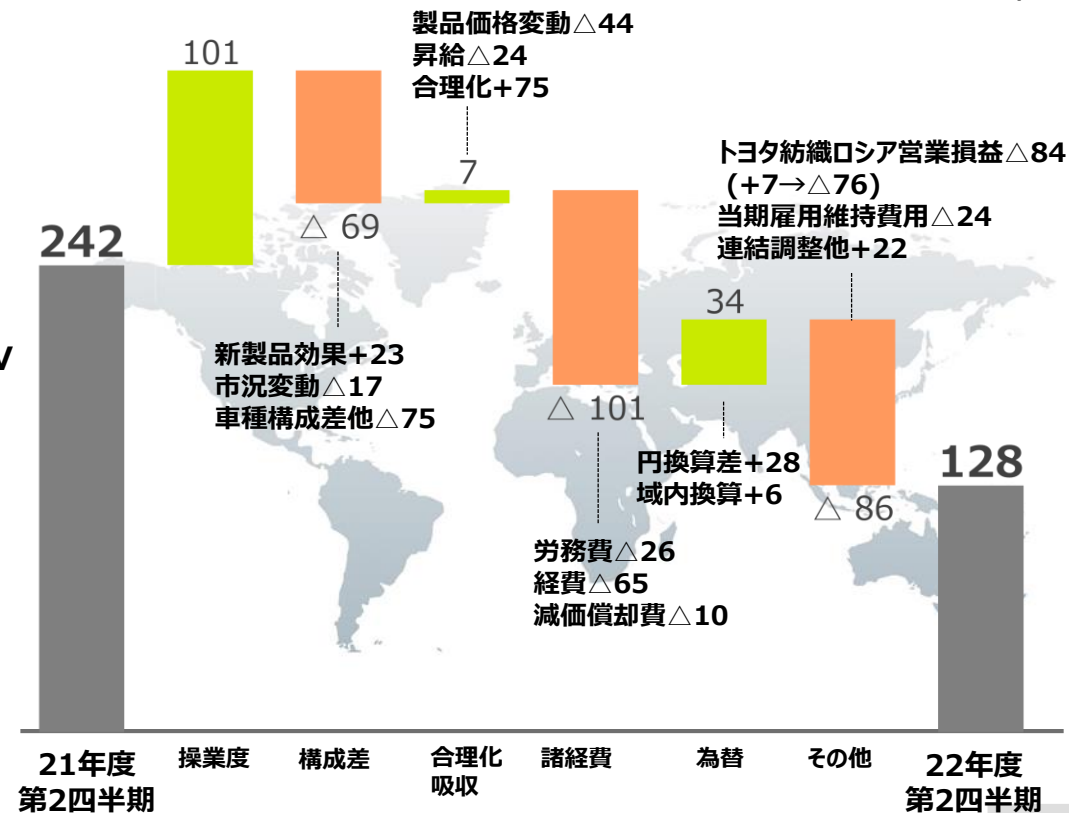
## 当期の経営成績

(億円)

	21年度2Q	22年度2Q	増減
売上収益	6,520	7,618	1,097
営業利益	242	128	△113
営業利益率	3.7%	1.7%	-

## 営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)

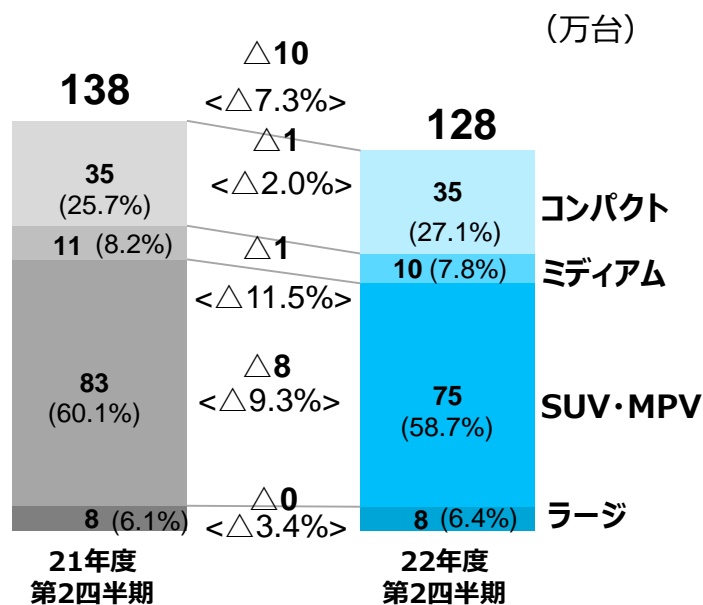


- ◆次に、連結の業績についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比プラス36万台の378万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,097億円増加の7,618億円。
- ◆営業利益は、  
海外地域での増産による増益要因はありますが、  
車種構成悪化や諸経費の増加に加え、  
ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより、  
113億円減益の128億円となりました。

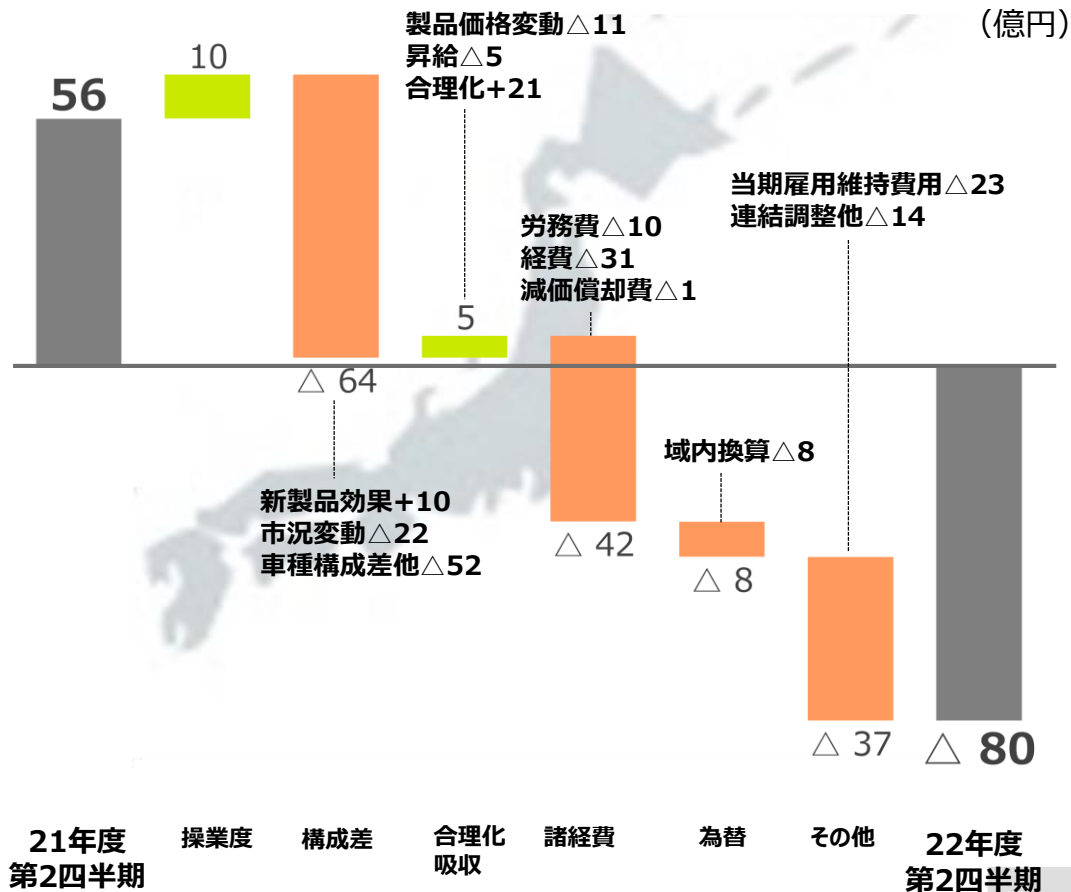
# 1-3) 2022年度第2四半期 決算状況 日本 売上収益・営業利益

部品供給問題に起因するSUV・MPV車種の減産に加え、  
車種内グレードMixの変化や諸経費の増加などにより減益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

	21年度2Q	22年度2Q	増減
売上収益	3,427	3,255	△171
営業利益	56	△80	△137
営業利益率	1.6%	△2.5%	-

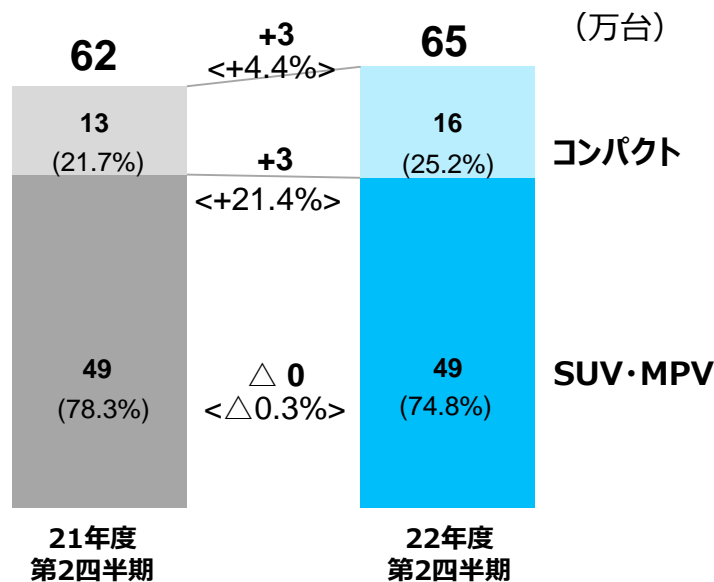
# スクリプト

- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス10万台の128万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比171億円減少の3,255億円。
- ◆営業利益は、  
部品供給問題に起因するSUV・MPV車種の減産に加え、  
車種内グレードMixの変化や諸経費の増加などにより、  
137億円減益の80億円の赤字となりました。

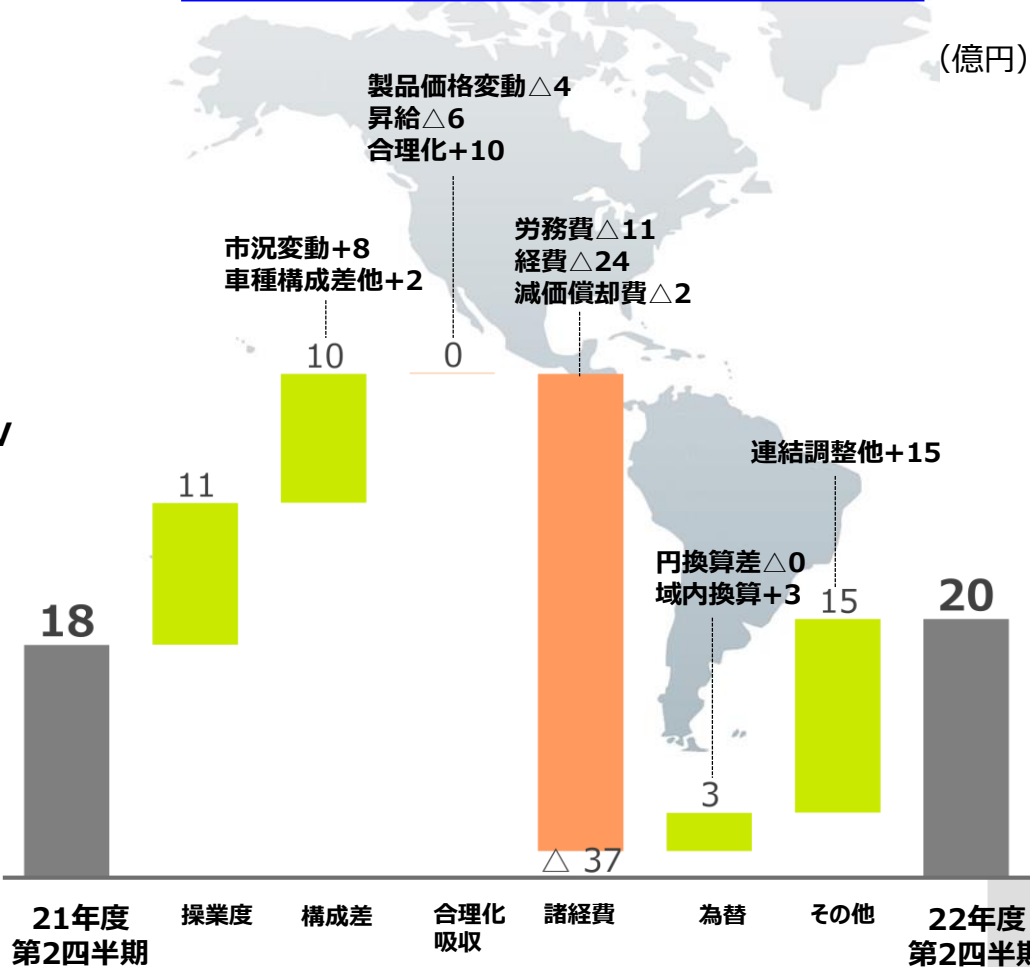
# 1-3) 2022年度第2四半期 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

モデルチェンジに伴う生準費など諸経費の増加はあるものの、増産効果や昨年度インフレ影響の客先回収があったことなどにより増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

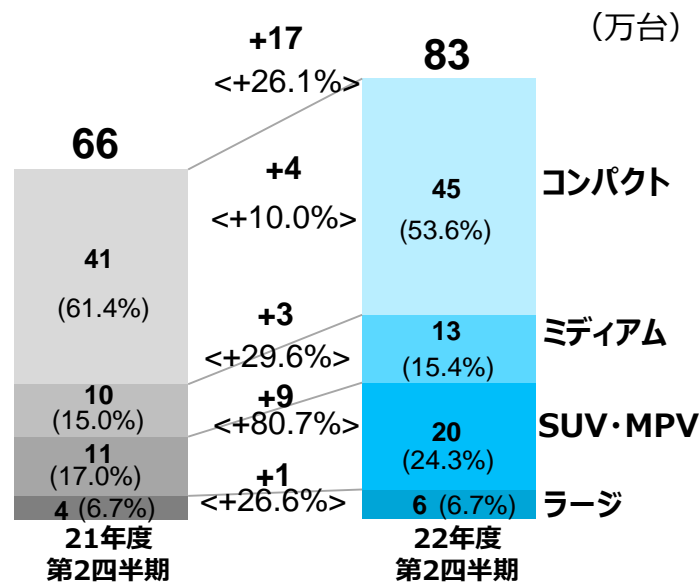
	21年度2Q	22年度2Q	増減
売上収益	1,459	1,967	507
営業利益	18	20	1
営業利益率	1.3%	1.0%	-

- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、前期比プラス3万台の65万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比507億円増加の1,967億円。
- ◆営業利益は、  
モデルチェンジに伴う生準費などによる諸経費の増加はありますが、  
コロナ禍からの需要回復による増産効果や  
昨年度インフレ影響の客先回収があったことなどにより  
1億円増益の20億円となりました。

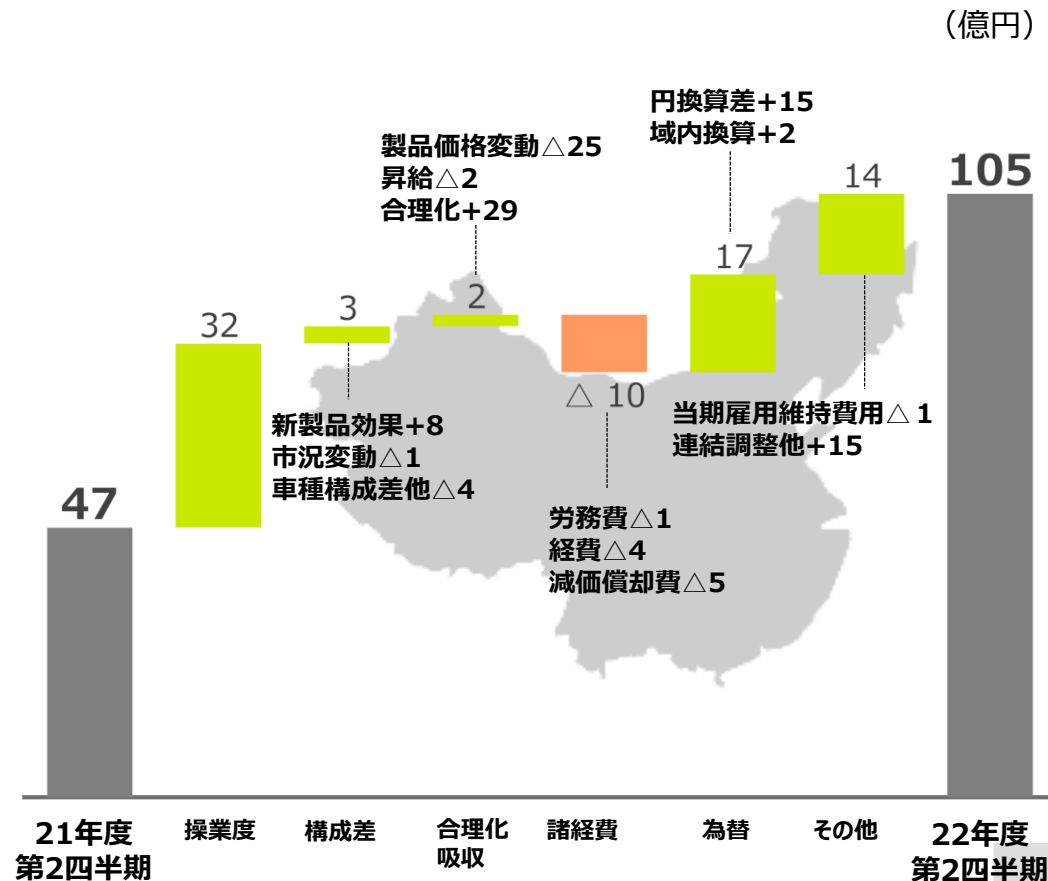
# 1-3) 2022年度第2四半期 決算状況 中国 売上収益・営業利益

昨年度下期の新車投入などによる増産効果や為替の影響などにより増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

(億円)

	21年度2Q	22年度2Q	増減
売上収益	874	1,269	394
営業利益	47	105	58
営業利益率	5.4%	8.3%	-

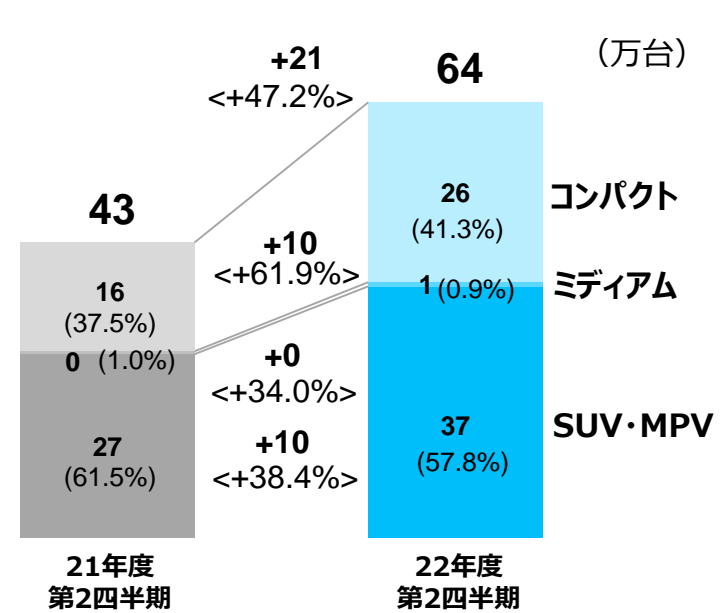
- ◆次に、中国ですが、
- ◆台数は、前期比プラス17万台の83万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比394億円増加の1,269億円。
- ◆営業利益は、  
昨年度下期の新車投入などによる増産効果や為替の影響などにより  
58億円増益の105億円となりました。



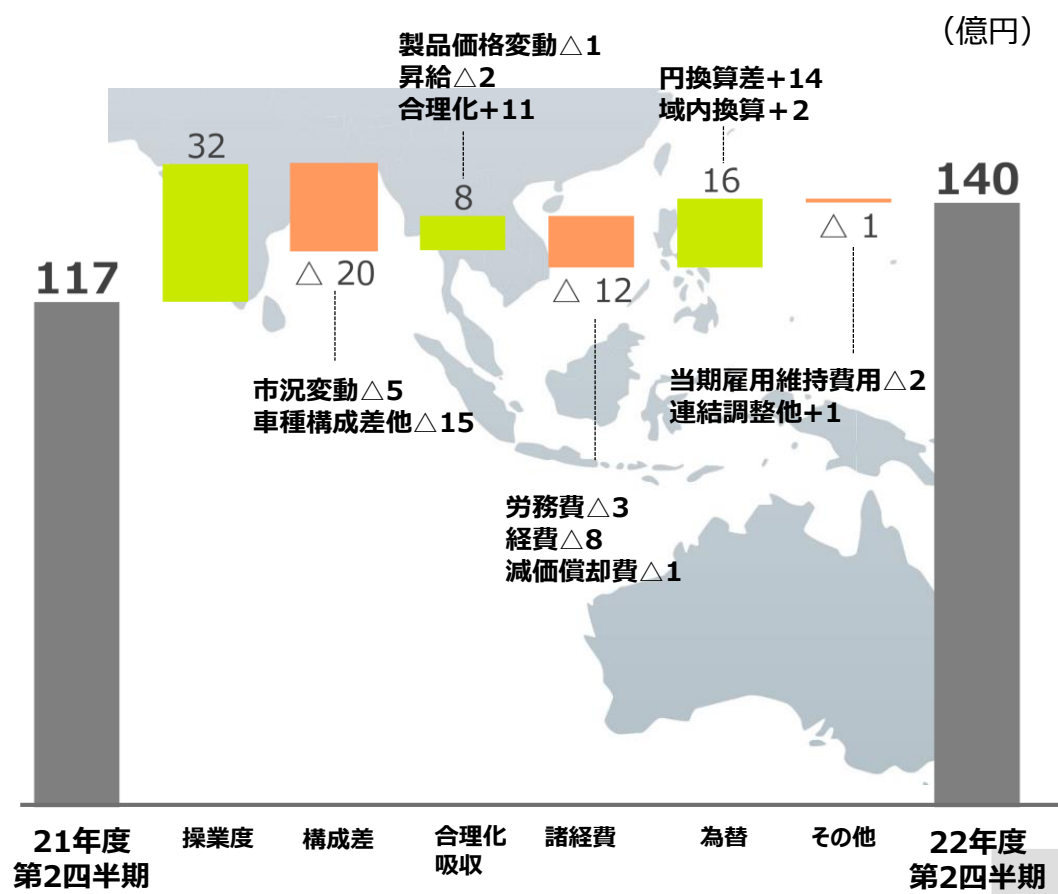
# 1-3) 2022年度第2四半期 決算状況 アジア・セアニア 売上収益・営業利益

インドネシア・インドでの拡販等による増産効果や為替の影響などにより増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

	21年度2Q	22年度2Q	増減
売上収益	819	1,160	341
営業利益	117	140	23
営業利益率	14.3%	12.1%	-

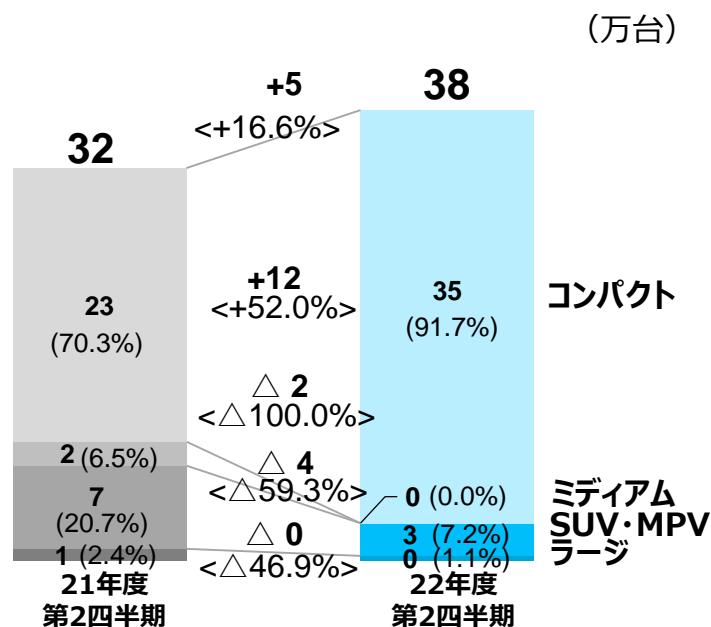
# スクリプト

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、前期比プラス21万台の64万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比341億円増加の1,160億円。
- ◆営業利益は、  
インドネシア・インドでの拡販等による増産効果や為替の影響などにより  
23億円増益の140億円となりました。

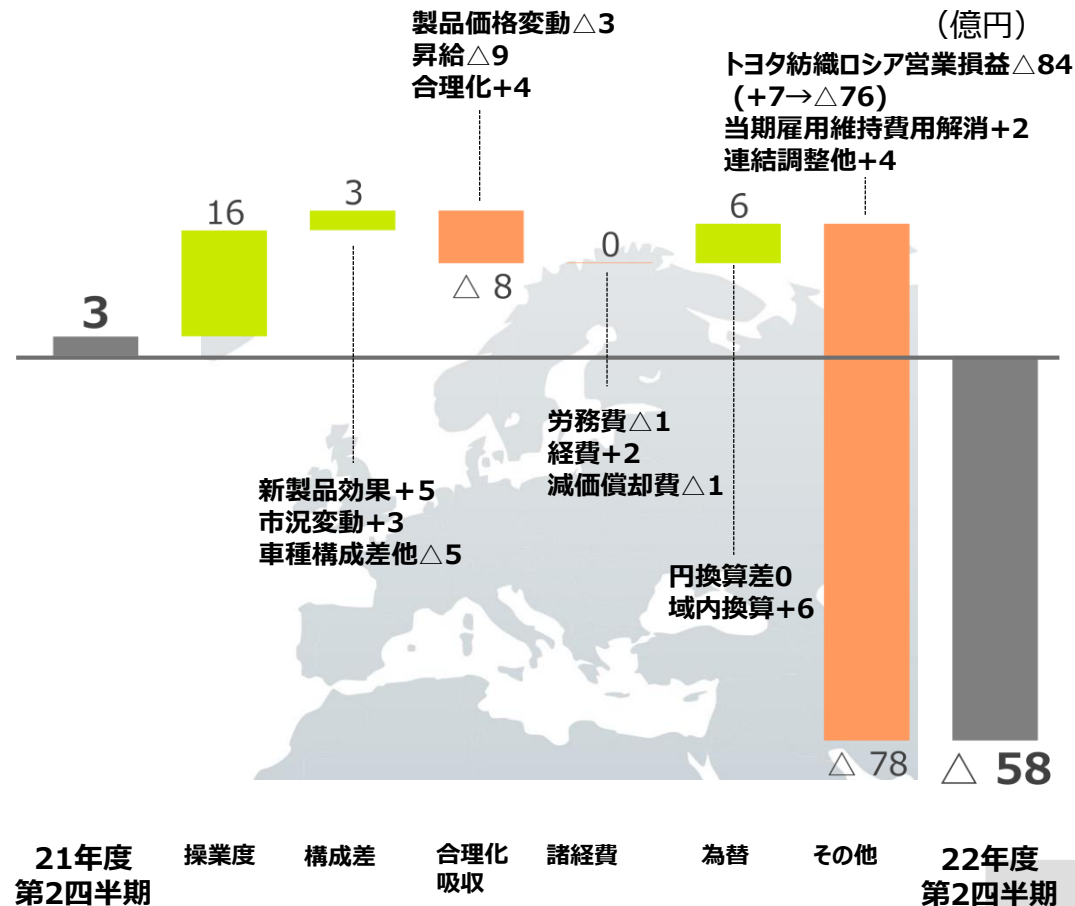
# 1-3) 2022年度第2四半期 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

増産効果はあるものの、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

(億円)

	21年度2Q	22年度2Q	増減
売上収益	398	463	65
営業利益	3	△58	△61
営業利益率	0.8%	△12.5%	-

# スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、前期比プラス5万台の38万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比65億円増加の463億円。
- ◆営業利益は、  
コロナ禍からの需要回復による増産効果はありましたが、  
ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより、  
61億円減益の58億円の赤字となりました。

# 目次

1. 2022年度第2四半期 決算状況

**2. 2022年度 通期業績予想**

3. 参考情報

◆続いて、2022年度の業績予想についてご説明いたします。

## 2-1) 2022年度 通期業績予想 連結決算概要

(億円)

	21年度 通期実績		22年度 通期予想		増減		22年度通期予想 (前回公表)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	14,214	100.0%	15,600	100.0%	1,385	9.7%	15,700	100.0%
営業利益	602	4.2%	430	2.8%	△172	△28.7%	610	3.9%
税引前利益	645	4.5%	510	3.3%	△135	△21.0%	640	4.1%
当期利益*	392	2.8%	250	1.6%	△142	△36.3%	400	2.5%

\*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益	210円15銭	133円81銭	214円09銭		
為替レート	USドル	112円	135円	+23円	130円
	1-0	131円	140円	+9円	140円

### 売上収益

日本での部品供給問題などに起因する減産影響はあるものの、海外での増産や為替影響などにより増収

### 営業利益

増産効果はあるものの、車種構成悪化や諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益

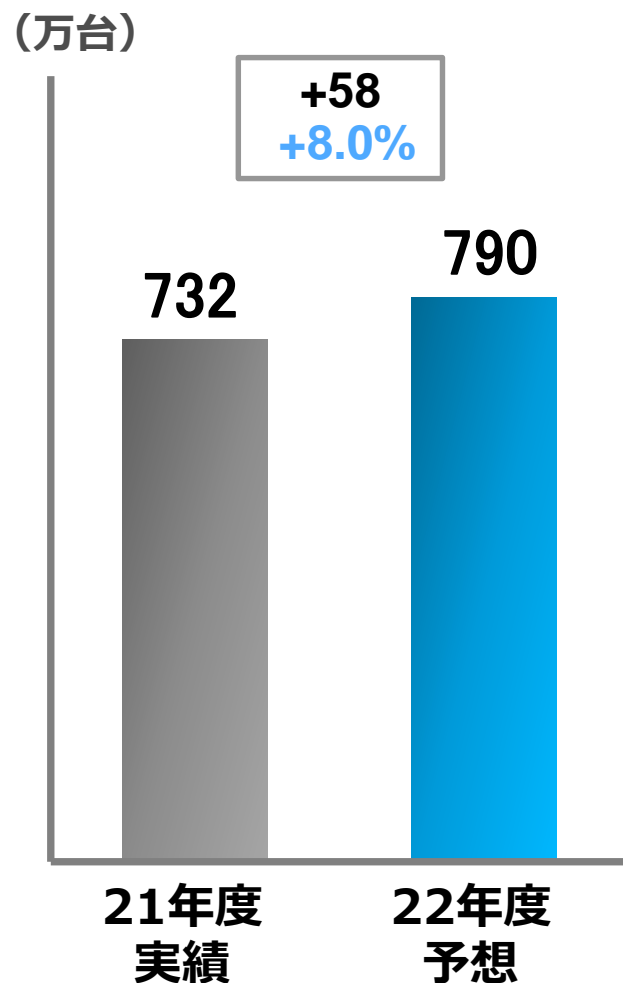
# スクリプト

- ◆売上収益は、前期比1,385億円増加の1兆5,600億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比172億円減益の430億円。
- ◆税引前利益は、前期比135億円減益の510億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比142億円減益の250億円をそれぞれ予想しております。
- ◆為替レートは、1ドル135円、1ユーロ140円を前提としております。

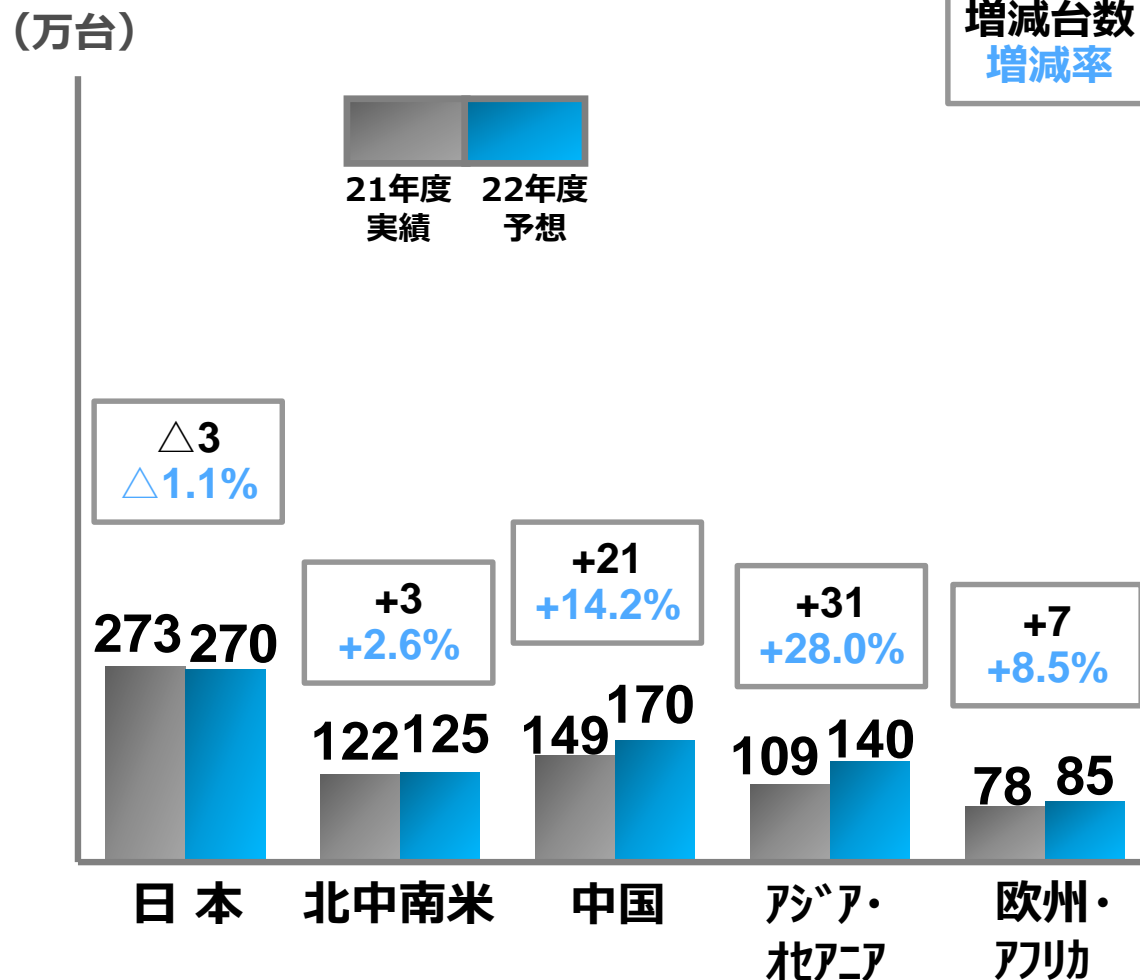


## 2-2) 2022年度 通期業績予想 地域別シート生産台数

### 連結全体



### セグメント別

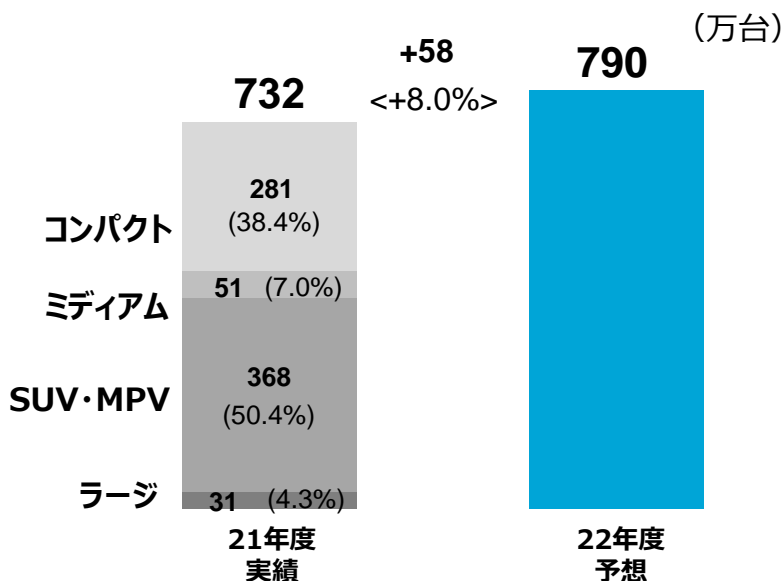


- ◆次に、シート生産台数ですが、  
連結全体では、前期比プラス58万台の790万台と  
予想しております。
  
- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、  
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

## 2-3) 2022年度 通期業績予想 連結 売上収益・営業利益

増産効果はあるものの、車種構成悪化や諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益

### 台数・車種構成の変化



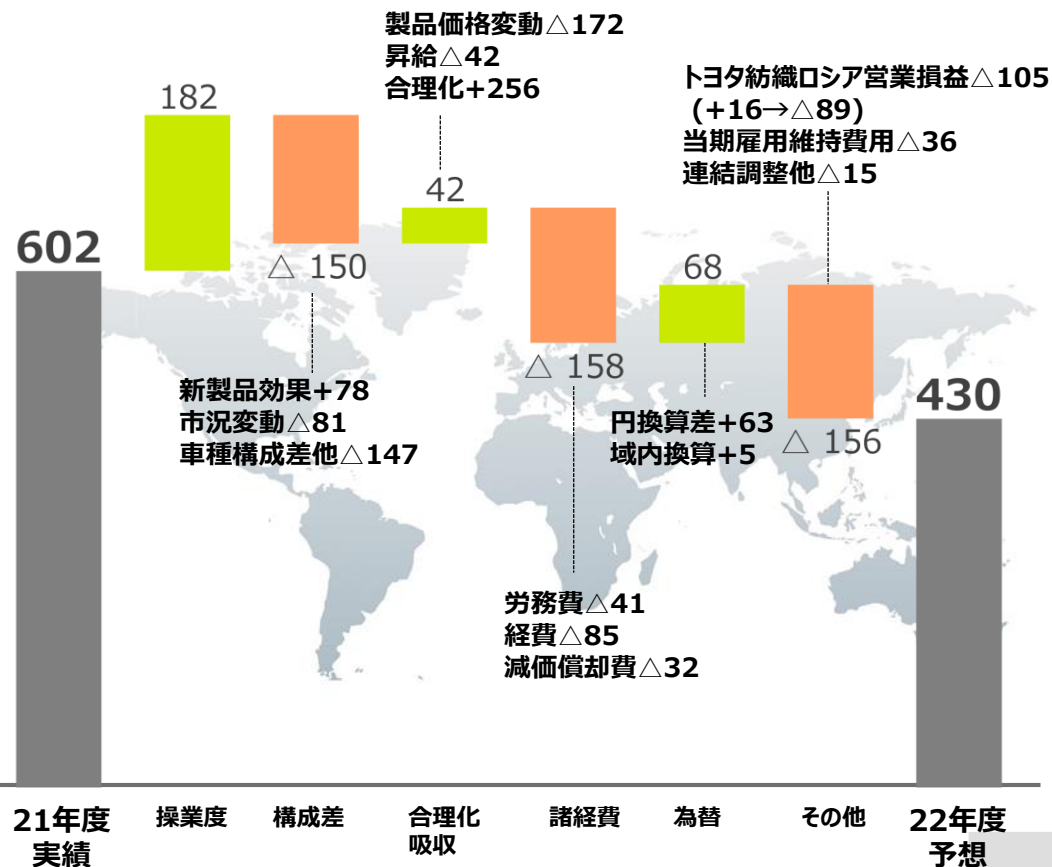
### 当期の経営成績

(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	14,214	15,600	1,385
営業利益	602	430	△ 172
営業利益率	4.2%	2.8%	-

### 営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



# スクリプト

- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数・車種構成の変化ですが、部品供給問題などにより稼働状況が、一部不透明なため、前回同様台数のみの公表といたします。台数は前期比プラス58万台の790万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比1,385億円増加の1兆5,600億円。
- ◆営業利益は、  
コロナ禍からの需要回復による増産効果はありますが、  
車種構成悪化や諸経費の増加に加え、  
ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより  
前期比172億円減益の430億円を想定しております。

## 2-3) 2022年度 通期業績予想 前回公表時との比較

### 営業利益 増減分析

主に日本での減産や車種構成悪化、  
ロシア事業終了の費用を織り込み下方修正

※トヨタ紡織ロシア営業損益

(億円)

	前回公表時	今回公表	計	増 減	
				社内努力	環境変化
21年度実績	602	602	-	-	-
操業度	316	182	△134	-	△134
構成差	△134	△150	△16	+37	△53
合理化吸収	32	42	+10	+10	+0
諸経費	△199	△158	+41	+46	△5
為替	27	68	+41	-	+41
その他	※ △42 △34	※ △105 △156	△122	+11	※ △62 △133
22年度予想	610	430	△180	+104	△284

# スクリプト

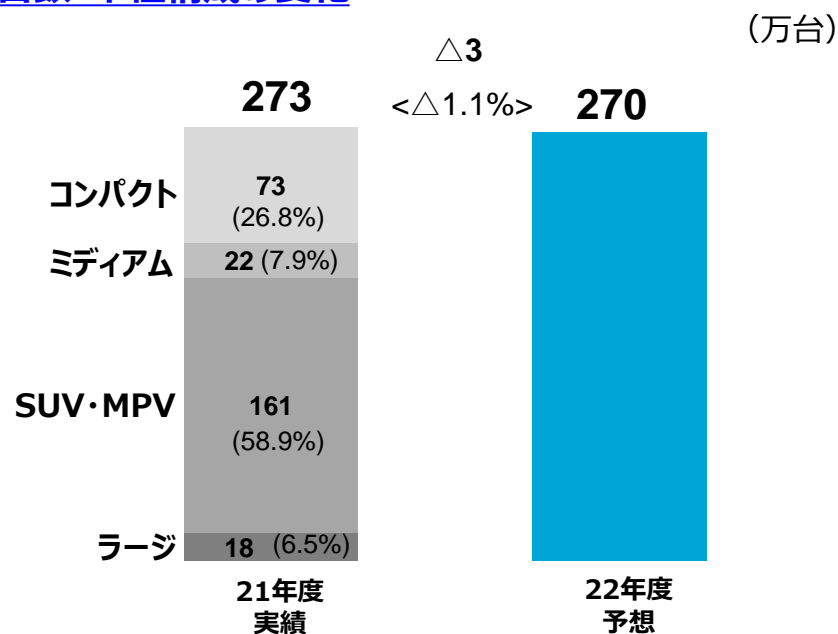
- ◆次に、第1四半期に公表いたしました、営業利益見通し610億円と、今回の見通し430億円の差異についてご説明いたします。
- ◆日本での減産や車種構成悪化に加え、ロシア事業終了の費用などを織り込み前回公表から下方修正しております。
- ◆一方で、社内努力として、新製品効果の最大化や諸経費の効率化など全社を挙げて収益確保に取り組むことで、減産などの外部環境変化による影響の最小化に努めて参ります。

## 2-4) 2022年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

### 日本

新製品効果などの増益要因はあるものの、  
原材料の高騰や車種構成悪化、  
諸経費の増加などにより減益の見込み

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

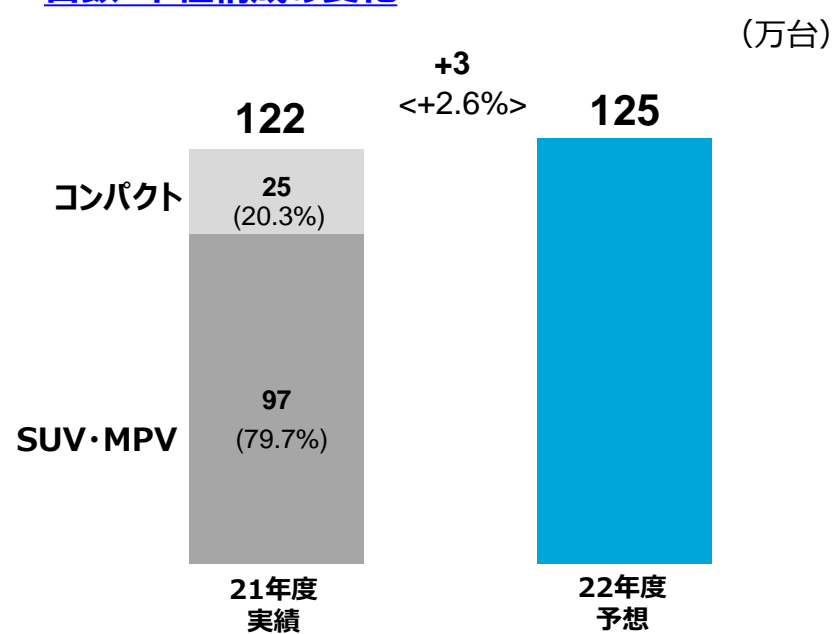
(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	7,006	6,600	△406
営業利益	96	△90	△186
営業利益率	1.4%	△1.4%	-

### 北中南米

増産効果などの増益要因はあるものの、  
生準費など諸経費の増加などにより  
減益の見込み

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	3,177	3,950	772
営業利益	29	0	△29
営業利益率	0.9%	0.0%	-

# スクリプト

- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。
- ◆まず日本ですが、  
台数は、前期比マイナス3万台の270万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比406億円減少の6,600億円。
- ◆営業利益は、新製品効果などの増益要因はありますが、  
原材料の高騰や車種構成悪化、諸経費の増加などにより、  
前期比186億円減益の90億円の赤字となる見込みです。
- ◆次に、北中南米ですが、  
台数は、前期比プラス3万台の125万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比772億円増加の3,950億円。
- ◆営業利益は、増産効果などの増益要因はありますが、  
生準費など諸経費の増加などにより、  
前期比29億円減益の0億円となる見込みです。

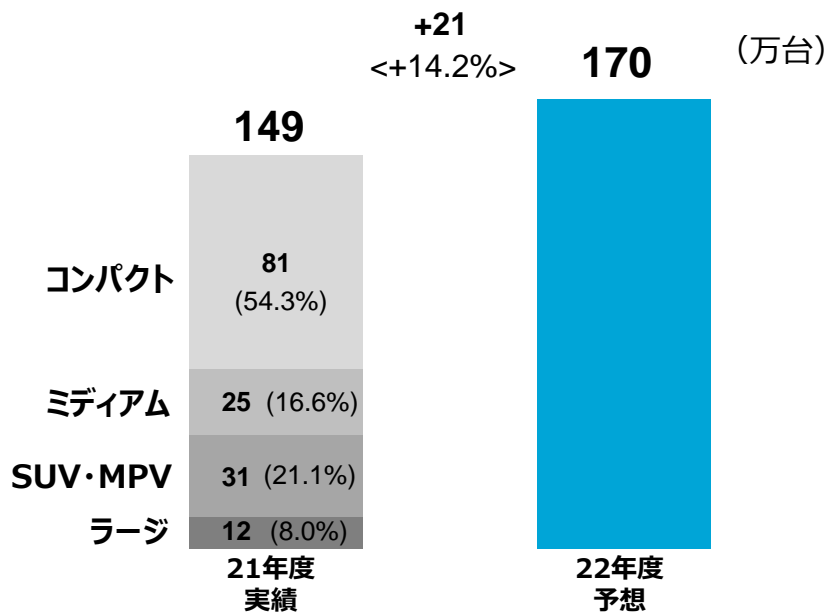


## 2-4) 2022年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

### 中国

諸経費の増加などの減益要因はあるものの、  
新車投入による増産効果などにより  
増益の見込み

#### 台数・車種構成の変化



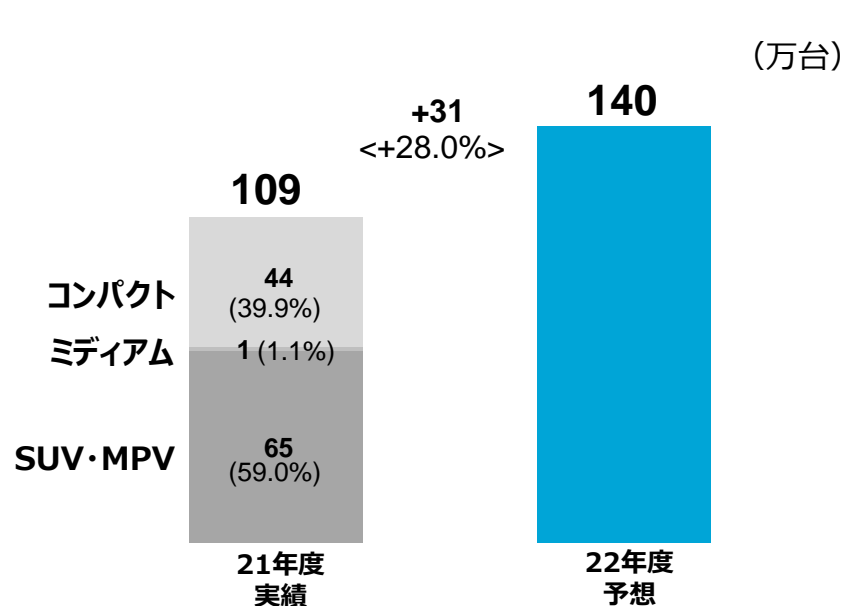
#### 当期の経営成績

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	2,121	2,700	578
営業利益	157	260	102
営業利益率	7.4%	9.6%	—

### アジア・セアニア

諸経費の増加などの減益要因はあるものの、  
拡販による増産効果などにより増益の見込み

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	1,904	2,450	545
営業利益	267	280	12
営業利益率	14.0%	11.4%	—

# スクリプト

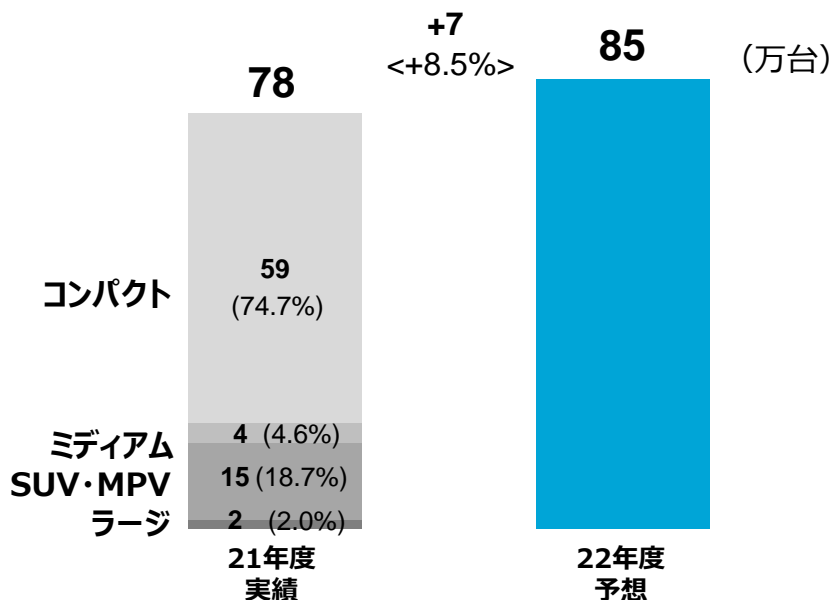
- ◆次に、中国ですが、  
台数は、前期比プラス21万台の170万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比578億円増加の2,700億円。
- ◆営業利益は、諸経費の増加などの減益要因はありますが、  
新車投入による増産効果などにより、  
前期比102億円増益の260億円となる見込みです。
  
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、  
台数は、前期比プラス31万台の140万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比545億円増加の2,450億円。
- ◆営業利益は、諸経費の増加などの減益要因はありますが、  
拡販による増産効果などにより、  
前期比12億円増益の280億円となる見込みです。

## 2-4) 2022年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

### 欧州・アフリカ

増産効果などの増益要因はあるものの、  
ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより  
減益の見込み

### 台数・車種構成の変化



### 当期の経営成績

(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	962	1,000	37
営業利益	53	△20	△73
営業利益率	5.5%	△2.0%	-

# スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、  
台数は、前期比プラス7万台の85万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比37億円増加の1,000億円。
- ◆営業利益は増産効果などの増益要因はありますが、  
ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより、  
前期比73億円減益の20億円の赤字となる見込みです。

## 2-5) 2022年度 通期業績予想 地域別・上下別

### 売上収益

(億円)

	上期	下期	通期
日本	3,255	3,344	6,600
北中南米	1,967	1,982	3,950
中国	1,269	1,430	2,700
アジア・オセアニア	1,160	1,289	2,450
欧州・アフリカ	463	536	1,000
連結全体	7,618	7,981	15,600

### 営業利益

(億円)

	上期		下期		通期	
日本	△80	△2.5%	△9	△0.3%	△90	△1.4%
北中南米	20	1.0%	△20	△1.0%	0	0.0%
中国	105	8.3%	154	10.8%	260	9.6%
アジア・オセアニア	140	12.1%	139	10.8%	280	11.4%
欧州・アフリカ	△58	△12.5%	38	7.1%	△20	△2.0%
連結全体	128	1.7%	301	3.8%	430	2.8%

- ◆なお、上期・下期の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

## 2-6) 2022年度 通期業績予想 株主還元

- 長期安定的な配当を継続し、21年度比6円増配の年間70円を予定、今後の連結業績などを総合的に勘案し決定

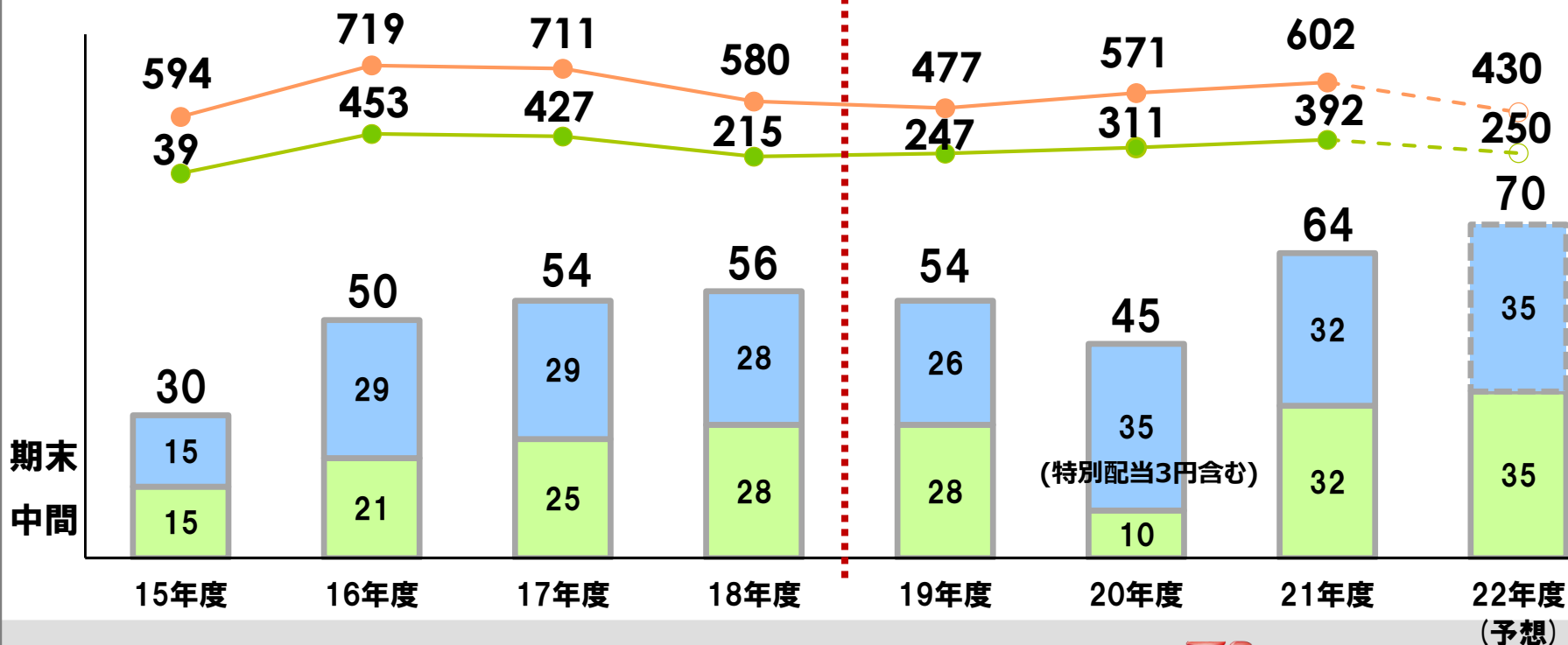
### 配当金および営業利益、当期利益の推移

■ 配当金(円)

● 営業利益(億円)

● 親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)

日本基準 ◀▶ IFRS



- ◆次に、配当金でございますが、22年度につきましては、前年比6円増配の年間70円とさせていただく予定です。今後、長期安定的な配当継続の観点などから、連結業績などを総合的に勘案し決定いたします。



## 2-7) 2022年度第2四半期 総括

---

### 【第2四半期 実績】

- ・部品供給問題などに起因する**車種構成悪化**や諸経費の増加に加え、**ロシア事業終了**に伴う費用の計上などにより**減益**
- ・一方で、2025年中期経営計画達成に向け、**新製品の収益向上**や**戦略OEMへの拡販**などは着実に進捗

### 【通期予想】

- ・グローバルでの原材料価格等の高止まりや、日本での客先半導体不足による減産・車種構成の悪化など、**厳しい外部環境が今後も続く**と予想
- ・新製品効果の最大化や諸経費の優先順位付けと効率化など、**全社を挙げた収益確保**を実施すると共に、「**将来に向けた投資**」は継続

# スクリプト

- ◆最後に、当第2四半期決算を総括させていただきます。
- ◆当第2四半期におきましては、部品供給問題などに起因する車種構成悪化や諸経費の増加に加え、ロシア事業終了に伴う費用の計上などにより減益となりました。一方で、2025年中期経営計画達成に向け、新製品の収益向上や戦略OEMへの拡販などは着実に進捗していると考えております。
- ◆通期業績予想におきましては、グローバルでの原材料価格等の高止まりや、日本での客先半導体不足による減産・車種構成の悪化など、厳しい外部環境が今後も続くと予想し、前回公表値からは減益を見込んでおります。一方で、新製品効果の最大化や、諸経費の優先順位付けと効率化など、全社を挙げた収益確保に取り組むと共に、「将来に向けた投資」は継続する事で、足元の収益向上と将来に向けた成長の両立を図って参ります

# スクリプト

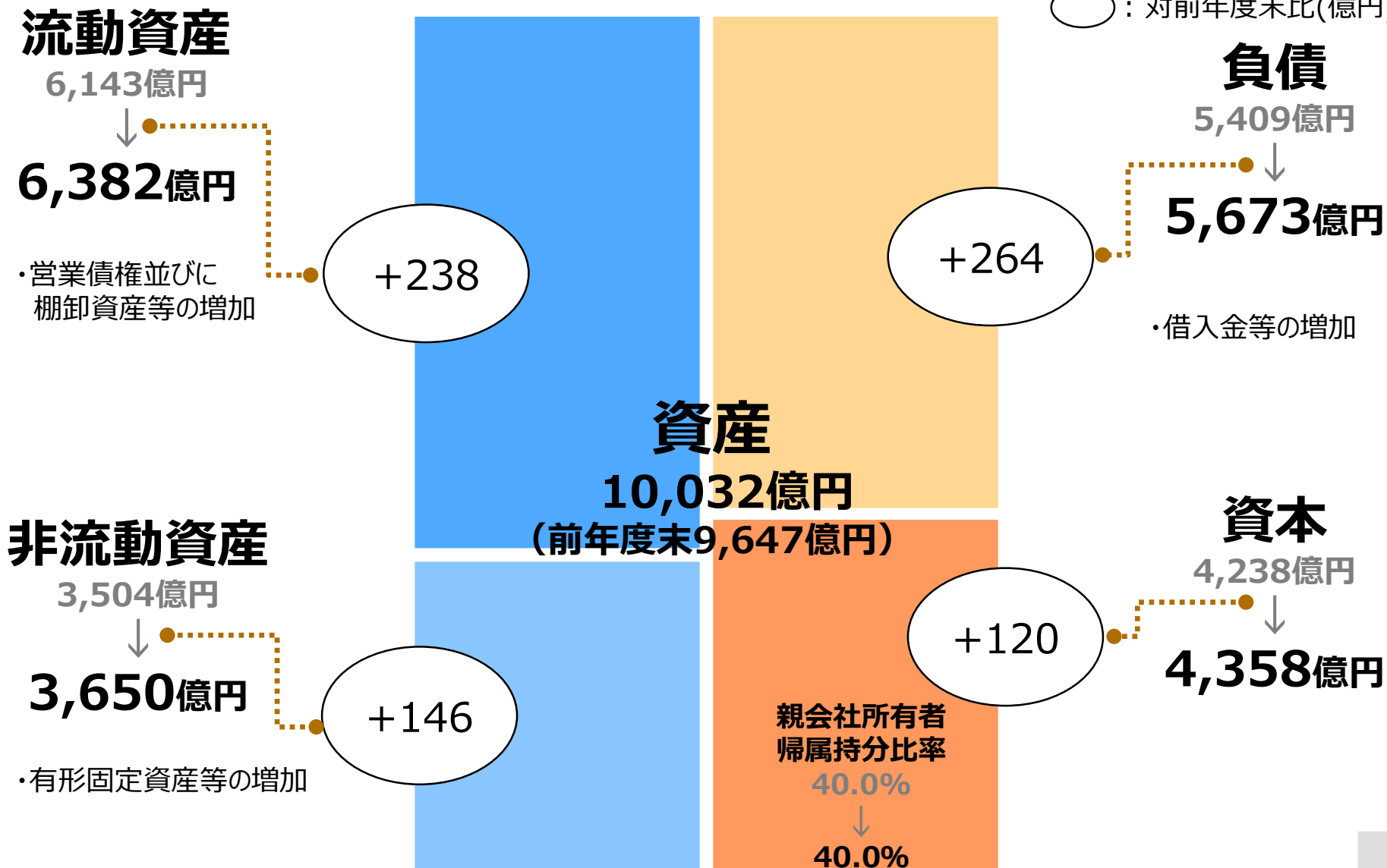
- ◆以上をもちまして、2022年度第2四半期決算の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

# 目次

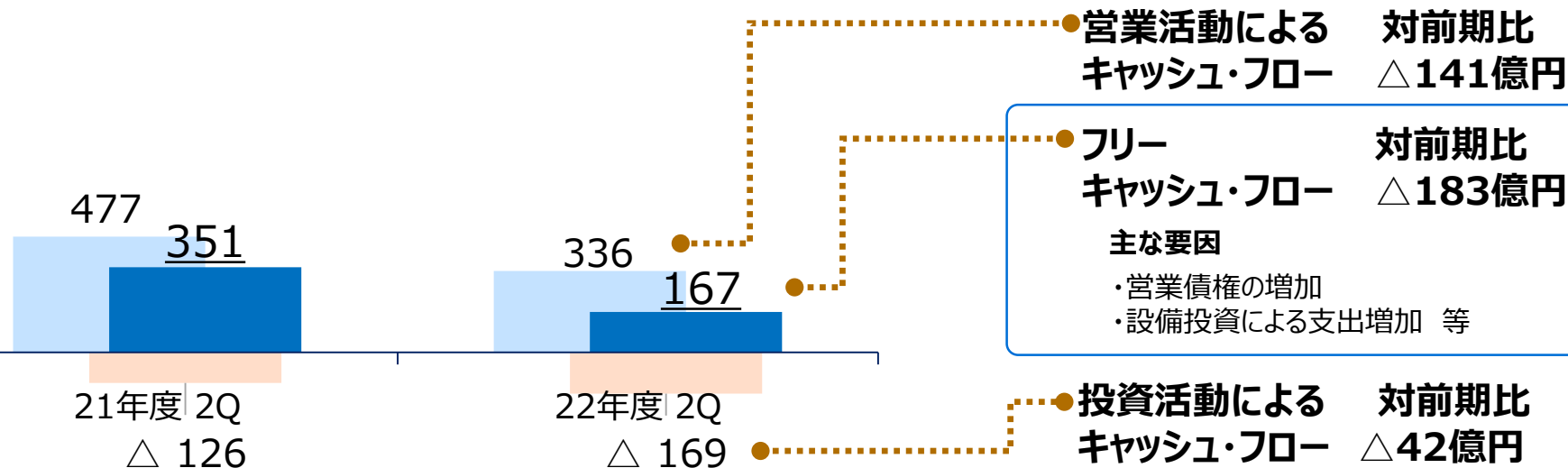
1. 2022年度第2四半期 決算状況
2. 2022年度 通期業績予想
3. **参考情報**

# 参考1) 連結財政状態計算書の状況(22/9末)

○ : 対前年度末比(億円)



## 参考2) 連結キャッシュフローの状況



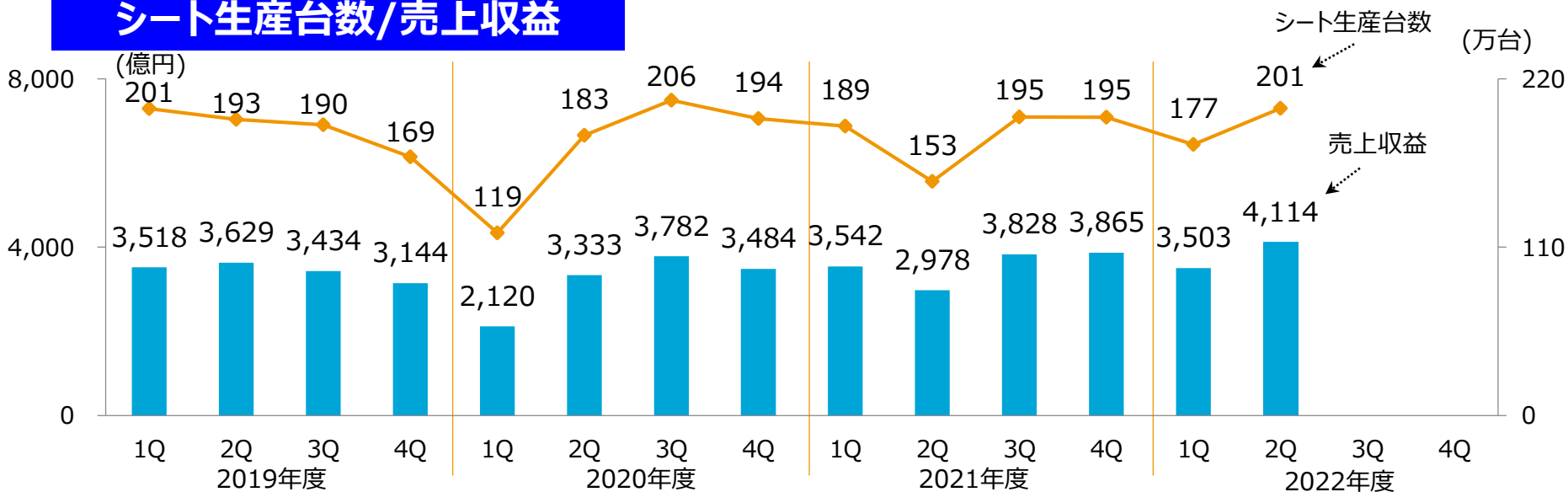
(億円)

〈ご参考〉

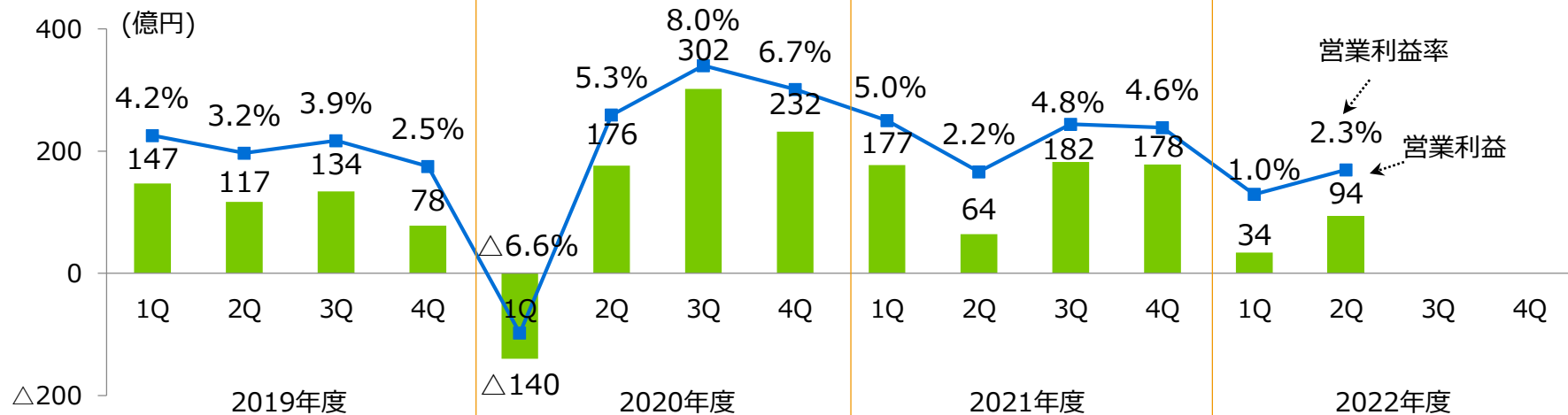
	21年度2Q	22年度2Q	増減	21年度期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	336	△141	1229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	△169	△42	△408
フリーキャッシュ・フロー	351	167	△183	820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179	△157	21	△486
為替変動による影響額	△11	65	77	93
現金及び現金同等物の増減額	159	75	△84	427
現金及び現金同等物の残高	2,111	2,454	343	2,379

# 参考3) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

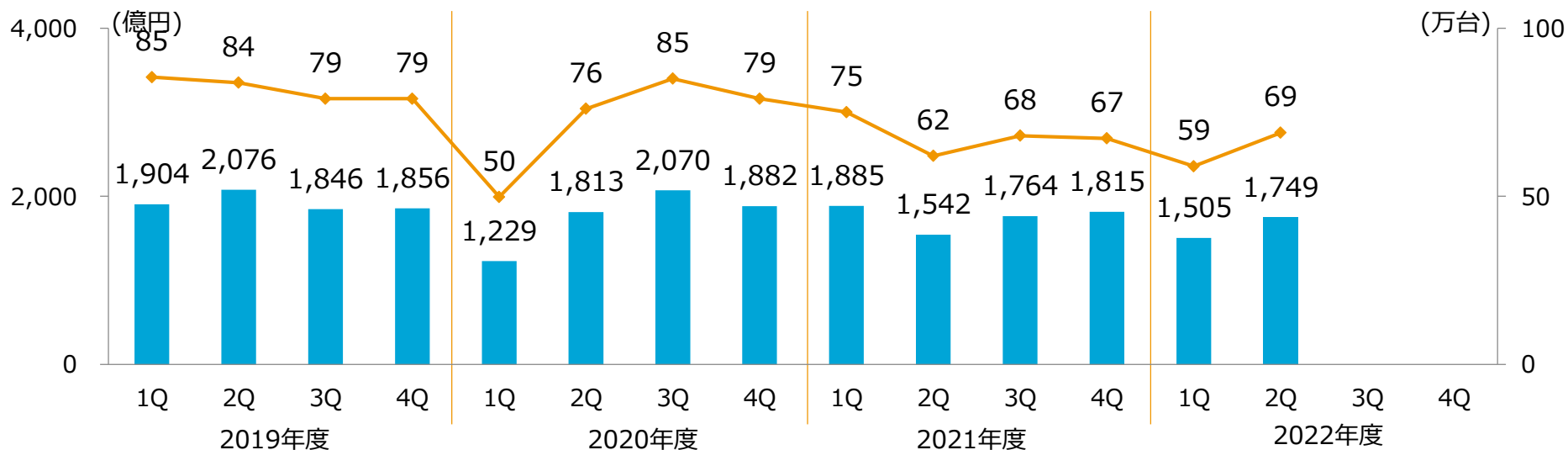


## 営業利益/営業利益率

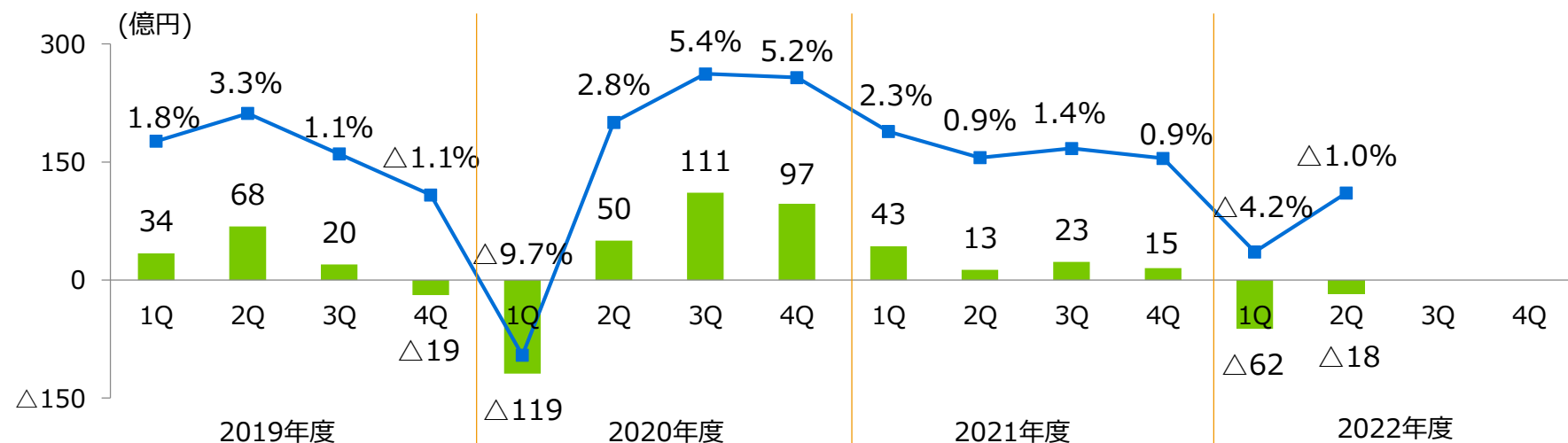


# 参考4) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益



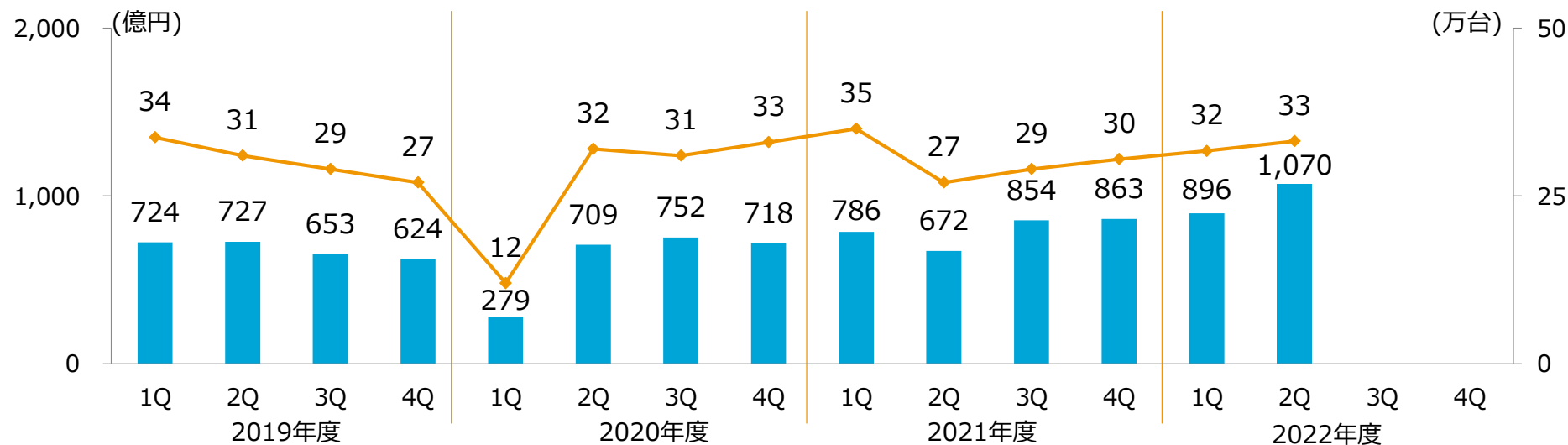
## 営業利益/営業利益率



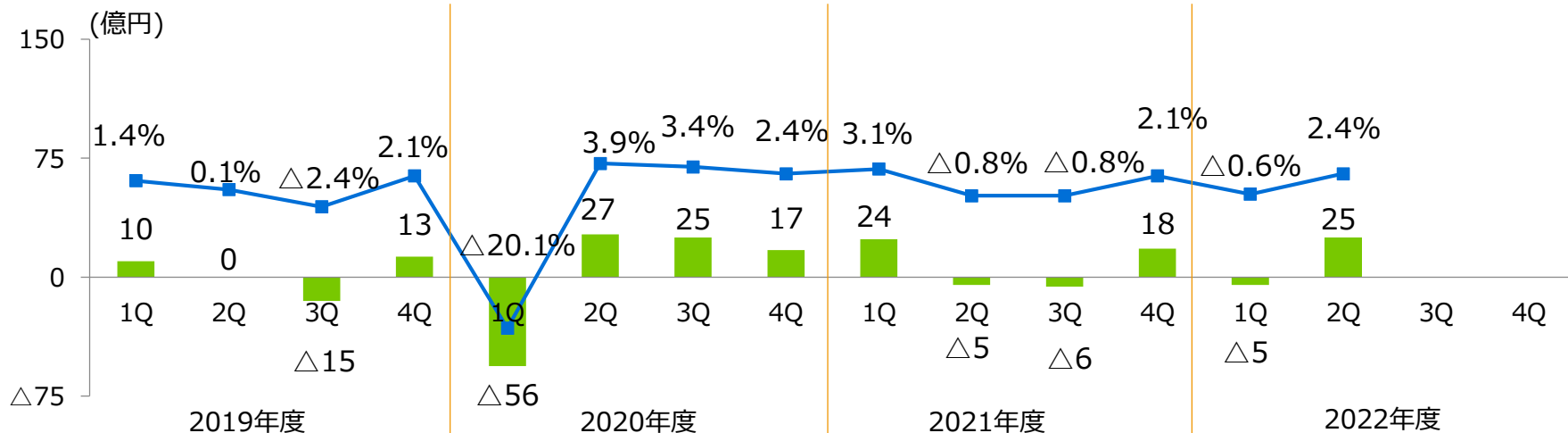


# 参考5) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

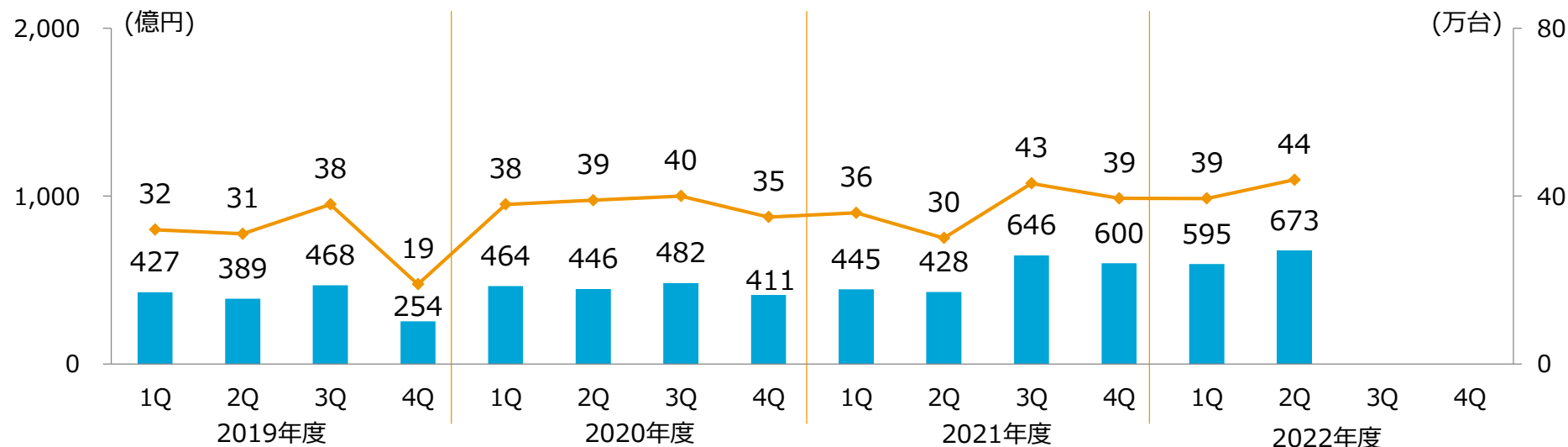


## 営業利益/営業利益率

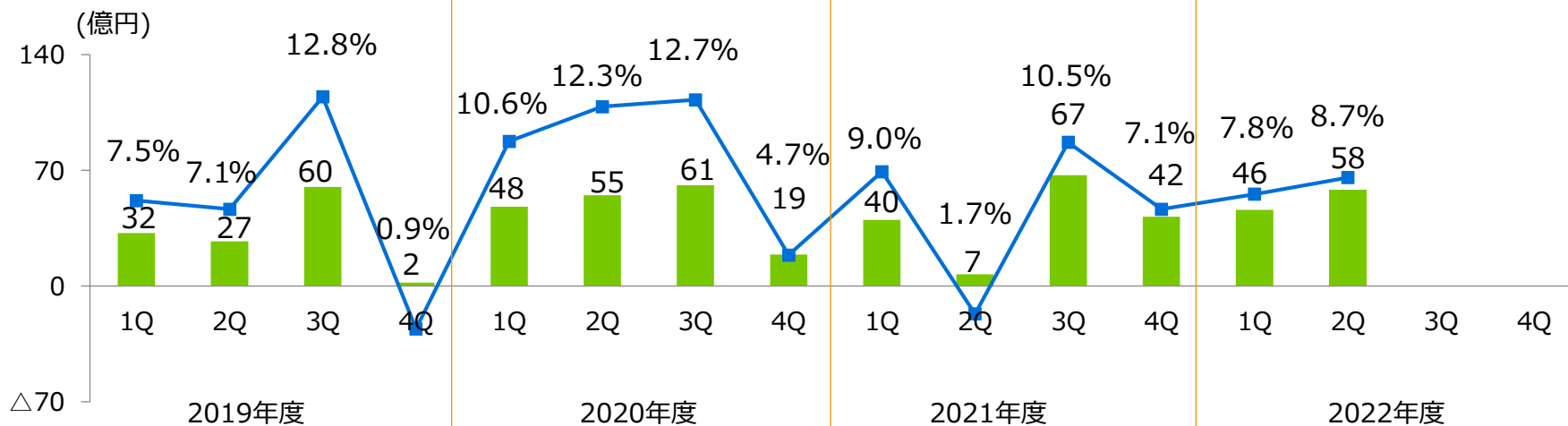


# 参考6) 四半期推移 中国 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

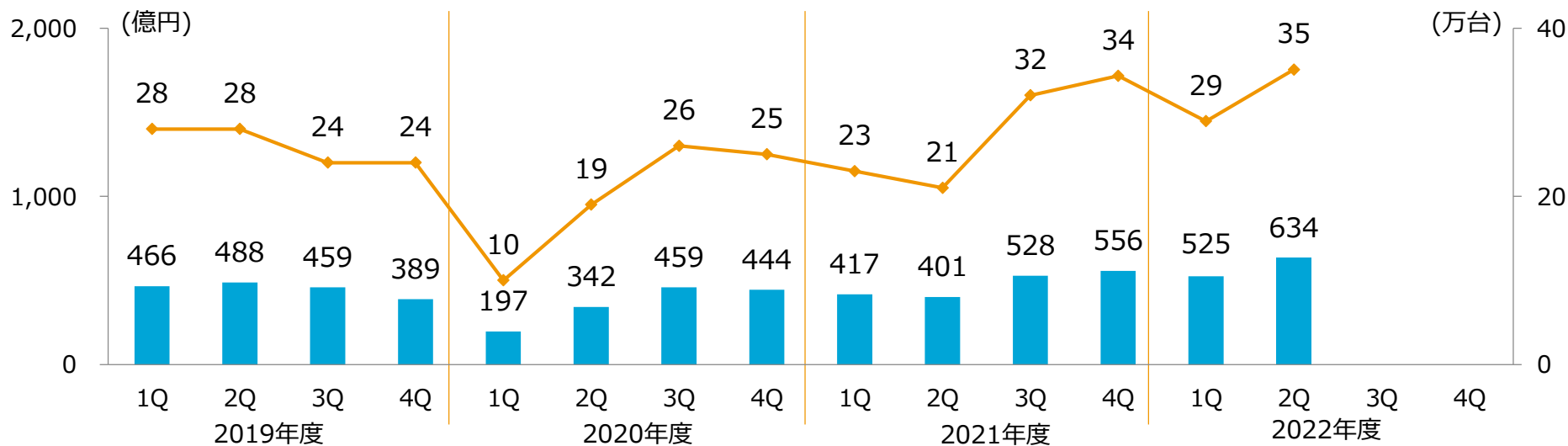


## 営業利益/営業利益率

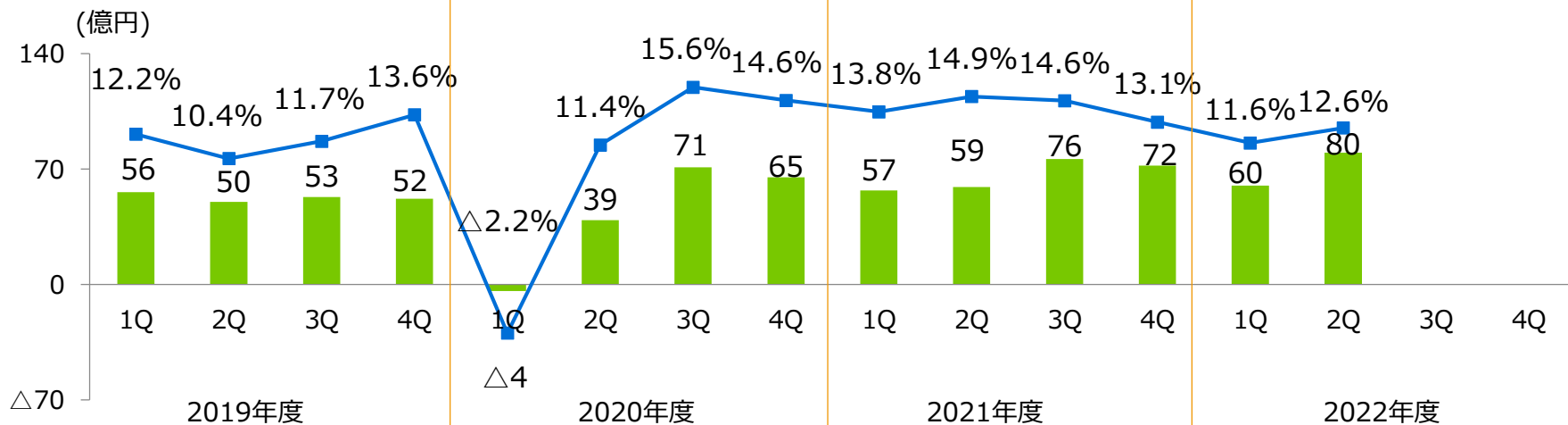


# 参考7) 四半期推移 アジア・北アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

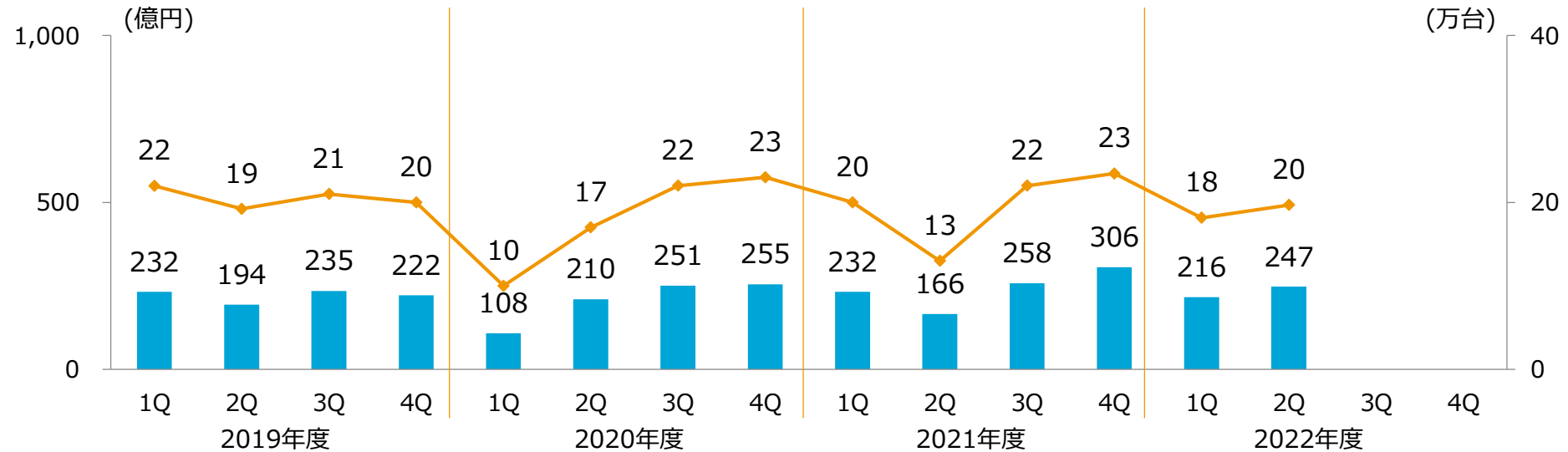


## 営業利益/営業利益率

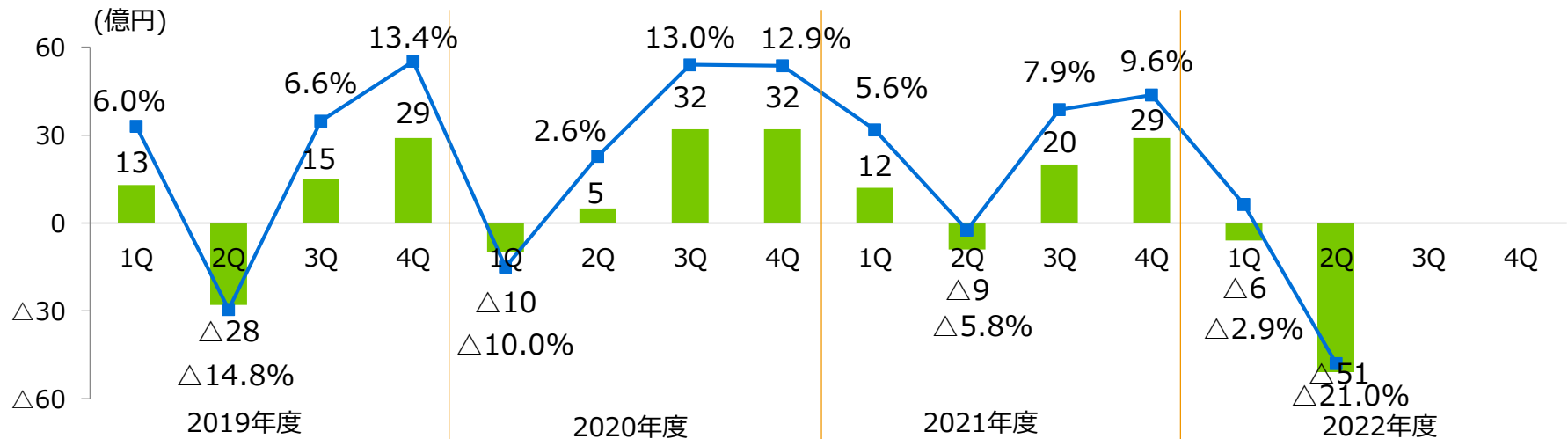


# 参考8) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益



## 営業利益/営業利益率





**<注意事項>**

**本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。**

**そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。**